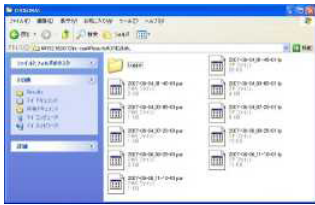


con::cube (コンキューブ)



オペレーティングシステムにMS-Windowsを搭載した表示器です。フラッシュメモリを内蔵しており、測定値や吸光度スペクトル等を記録しています。LAN接続やUSBポートへの接続で外部にデータを取り出すことができます。操作もタッチパネルで、簡単に瞬時値・経時変化グラフ・吸光度スペクトル等を表示できます。

Windows標準のファイル共有機能



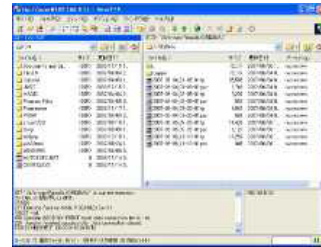
Windows標準のファイル共有画面

コンキューブ内に保存されている測定データをCSV形式で取り出すことができます。取り出す際に専用のソフトウェアをパソコンにインストールする必要もありません。また、USBポートから直接データを取り出し可能です。

FTPサーバー機能

PCをLANで接続する事で、FTPクライアント(NextFTP、FFTPなど)を使用して、コンキューブ内部の測定データファイルを取得することができます。(最大4ヶ月分)

取り出し可能なデータの種類も測定値だけでなくスペクトルデータ(吸光度)やログデータを取り出すことができます。



FTPクライアント画面

VNC-Viewerサーバー機能



PCでの表示画面



VNC-Viewer操作画面

PCをLANで接続する事で、VNC-Viewerを使用してコンキューブの画面を表示し、マウスを使用して設定変更などを操作することができます。遠隔地にいながら、測定値の監視だけでなくアラーム設定値の変更や接続した測定器の状態確認や一部操作を行う事ができます。

測定データファイル自動転送機能(オプション)

別途FTPサーバを御用意して頂く事により、測定データの自動転送が可能です。これにより、リアルタイムに測定データを受信できます。また、転送されたCSVファイルの自動編集ソフトを御用意して頂ければ、管理システムを組むことも可能です。

